



【図書館歳時記】「死霊解脱物語聞書」

江戸時代の元禄3（1690）年11月23日に出版された『死霊解脱物語聞書』（山形屋吉兵衛開板）には、いわき市四倉町上仁井田出身の僧、祐天（1637～1718年）が人に取り憑いた死霊を成仏させた話が紹介されている。

寛文12（1672）年、下総国岡田郡羽生村に暮らす菊という14歳の娘に、累（かさね）という女性の死霊と助という男の子の死霊が取り憑き、菊は重篤な状態に陥る。このことを知った祐天は読経や念仏により、累と助の死霊を成仏させ、菊を救った。この物語を読むと、まず祐天の法力の大きさに驚かされる。同時に、祐天が菊に取り憑いた累や助の話に極めて丹念に耳を傾け、2人に寄り添っていることや、村の人たちと心をひとつにして、ことに当たっていることにも驚かされる。 いわき総合図書館長 夏井芳徳

おすすめの本紹介

「泣くな研修医」（一般書・小説）

中山祐次郎 || 著 幻冬舎



本書は、都内の総合病院で研修中の新米外科医が、様々な背景を抱えた患者に真摯に向き合い、先輩医師や看護師などに鍛えられながら、医師として成長していく姿を描いたものです。交通事故で重症の男児が発した、生きることへの強い意思を受け止め、懸命に救おうとする姿、末期ガンの青年への優しい嘘に苦悩する姿…。そうした姿から、医師の葛藤も伝わってきます。著者は郡山市の病院で活躍中の外科医です。医師不足が話題となる中、常に最善を尽くそうとする医師や医療従事者に、感謝とエールを送りたくする一冊です。

「元号ってなんだ？」（一般書・日本史）

藤井青銅 || 著 小学館



この本は、元号の数や、元号に使われた漢字ベスト10などランキングはもちろん、元号導入の意義や、誰が元号を決めるのかなど、日本の「改元」はどんな意味をもつのかを解いています。また、元号由来のネーミングや全国の改元ゆかりの地なども紹介しており、元号に関する素朴な疑問に答える入門書となっています。まさに、「元号」熱が最高潮に達している今こそ、この本を読んで、「元号」のうんちくを高めたり、新元号を予想したりと、新元号に変わる瞬間に立ち会える喜びを倍増させていただける一冊です。

「空をゆく巨人」（地域資料・ノンフィクション）

川内有緒 || 著 集英社



本書は、昨年の第16回開高健ノンフィクション賞受賞作です。いわきの「すごいおっちゃん」と、志賀忠重さんと、現代アートのスーパースター蔡國強さんの長年にわたる交流を描いたものです。生まれた国も、職業も、生き方も異なる二人の友情と、そこから生み出された作品について描かれています。東日本大震災直後から、桜を植え始めた志賀さん。その活動は、やがて「いわき万本桜プロジェクト」となり、多くの人を願いを込めた桜を植えるようになりました。震災から8年、今年も桜の季節を迎えます。この季節に、ぜひ読んでほしい一冊です。

「飲食店経営で成功するための「お金」のことがわかる本」

（一般書・ビジネス商業）

水野剛志 || 著 日本実業出版社



この本は、飲食店専門のコンサルタントを行っている著者による、飲食店経営で成功するための「お金」についての知識を紹介したものです。開業時の資金調達から食材の原価管理、通帳の活用方法、効果的な節税対策など、「儲かる飲食店」になるために、知っておくべき「5つの成功戦略」を具体的な事例を基にした成功へのノウハウを満載しています。これから飲食店を経営し本気で成功したい開業予定者と、飲食店を営んでいる方におすすめの一冊です。

貸出 TOP10

1	虚ろな十字架	東野圭吾 著	光文社
2	希望荘	宮部みゆき 著	小学館
3	九十歳。何がめでたい	佐藤愛子 著	小学館
4	コンビニ人間	村田沙耶香 著	文藝春秋
5	かいけつゾロリのだ・だ・だ・だいぼうけん！後編	原ゆたか 著	ポプラ社
6	素敵な日本人	東野圭吾 著	光文社
7	盤上の向日葵	柚月裕子 著	中央公論新社
8	きえた！？かいけつゾロリ	原ゆたか 著	ポプラ社
9	下町ロケット[3]	池井戸潤 著	小学館
10	羊と鋼の森	宮下奈都 著	文藝春秋

予約 TOP10

1	沈黙のパレード	東野圭吾 著	文藝春秋
2	大家さんと僕	矢部太郎 著	新潮社
3	一切なりゆき	樹木希林 著	文藝春秋
4	昨日がなければ明日もない	宮部みゆき 著	文藝春秋
5	フーガはユーガ	伊坂幸太郎 著	実業之日本社
6	かみさまは小学5年生	すみれ 著	サンマーク出版
7	ノースライト	横山秀夫 著	新潮社
8	すぐ死ぬんだから	内館牧子 著	講談社
9	樹木希林 120 の遺言	樹木希林 著	宝島社
10	ある男	平野敬一郎 著	文藝春秋

知っていますか？便利な図書館機能

【読書の履歴を記録してみませんか？】

いわき市立図書館のホームページが先月、リニューアルされ、貸出履歴を記録することができるようになりました。感動した本、お子様と一緒に読んだ本など、履歴を残したい本を登録することで、御自身の「読書記録」として活用いただけます。



図書館のホームページ上で、図書館利用カード番号などを入力してから、手続きを進めることができます。この春から、「読書記録」をつけてみませんか？（※貸出した本の履歴に関するお問い合わせや、貸出履歴を記録する手続きを、図書館のカウンターで行うことはできません。）

シリーズ 数字で見るいわきの図書館

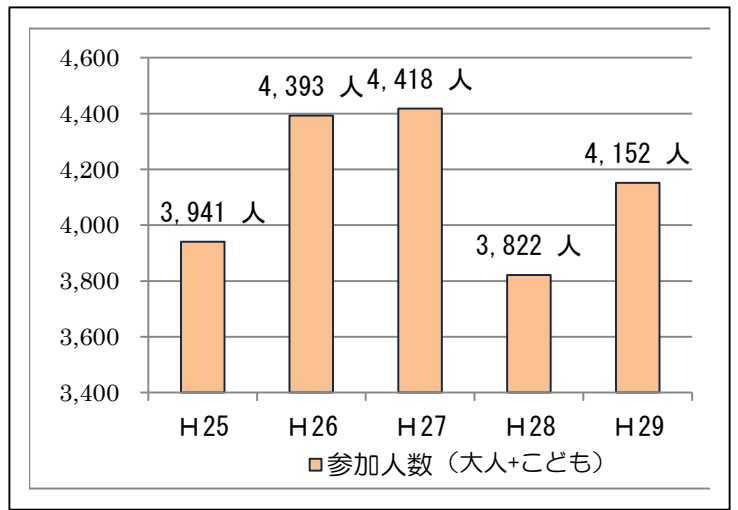
【赤ちゃんへのはじめての絵本事業実施状況】

平成 29 年度参加人数

4,152 人（大人 2,074 人 子ども 2,078 人）

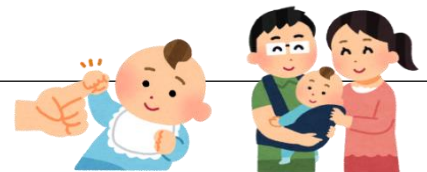
10 か月児健診会場に図書館職員や市民ボランティアが出向き、絵本等の紹介や読み聞かせを行う「赤ちゃんへのはじめての絵本事業」は平成 17 年度から始まりました。

平成 29 年度は、総合保健福祉センター、小名浜市民会館、勿来市民会館の 3 会場で年間 79 回開催しました。会場では、赤ちゃんへのおすすめの絵本パンフレットも配布しますので、ぜひご参加ください。



図書館豆知識

4月23日（火）「子ども読書の日」に記念事業を行います！



子ども読書の日は、平成 13 年に制定された「子どもの読書活動の推進に関する法律」で、4月23日と定められました。いわき総合図書館では、今年も、1歳頃までの赤ちゃんとその保護者を対象にした「あかちゃんへのおはなしかい」を開催します。本のおよみかせや手あそびなど、子どもも大人も楽しむことができますので、ぜひ、4月23日（火）午前 11 時、いわき総合図書館 4 階のよみかせひろばへお越しください！